

LONGLIFEのための 災害対応と情報の活用

一般社団法人 プレハブ建築協会
住宅部会 環境分科会主催
環境シンポジウム 2025

2026年2月
旭化成ホームズ株式会社

旭化成ホームズグループの目指す「LONGLIFE」

旭化成ホームズグループは、世界の人びとの“いのち”と“くらし”に貢献します

- 旭化成ホームズは創業以来、「日本の住宅を向上させたい」という想いをもち続け、強靱な躯体、高耐久な素材の利用、「60年無料点検システム」の開発などを通じて、お客様の人生に寄り添う「住宅の長寿命化」を目指してきた。



耐用年数
30年以上

シート防水システム

耐用年数
30年以上

屋根材

耐用年数
60年以上

連続布基礎

耐用年数
30年以上

外壁塗装

耐用年数
60年以上

鉄骨

耐用年数
60年以上

ヘーベル



HEBEL HAUS



住み続ける

60年無料点検
システム



リノベーション・
住み継ぐ



ストック
ヘーベルハウス

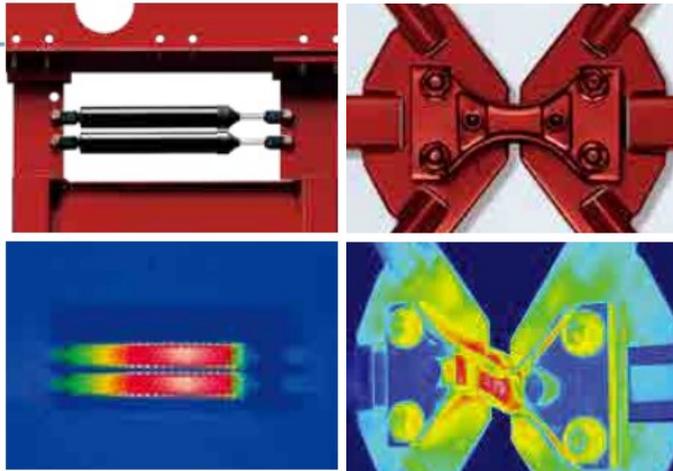
1998年～



災害対応の概念「トータルレジリエンス」とは

災害に対し、命を守るだけでなく、いち早く復旧し、元の生活を送れることを目指す考え方。

耐震性



耐火性



防
災力

災害に耐える備えを
強化していく力

太陽光発電と蓄電池で
電力確保

HEBEL HAUSの
トータル
レジリエンス

復
旧力

元の生活に
回復できる力

減
災力

予想を超えた被害を
最小限に抑える力

- ・グループ連携
- ・保険の提供
- ・デジタルを活用した
災害支援



近年の災害傾向

直近10年の災害事例

- 2018年を契機に毎年のように大規模な「水害」「雹害(風害)」が発生している。
- 従来より災害対策をしてきた「地震」「台風」だけでなく、大規模な「水害」「雹害」などを含む災害の頻度や規模が増えている。

災害対応の記録(2015~2024年)

★ : 現地対策本部を設置し対応を実施

年度	2015年	2018年		2019年	2022年		2023年		2024年
時期	9月	6月	7月	9・10月	6月	9月	7月	5~9月	4月
災害種	水害	地震	水害	水害	雹害	水害	雹害	水害	雹害
エリア	茨城常総	大阪	広島岡山	関東広域	千葉 群馬 埼玉	静岡	群馬	和歌山 三河 埼玉千葉 久留米	兵庫
	★	★	★	★		★			



2023年(福岡)の水害



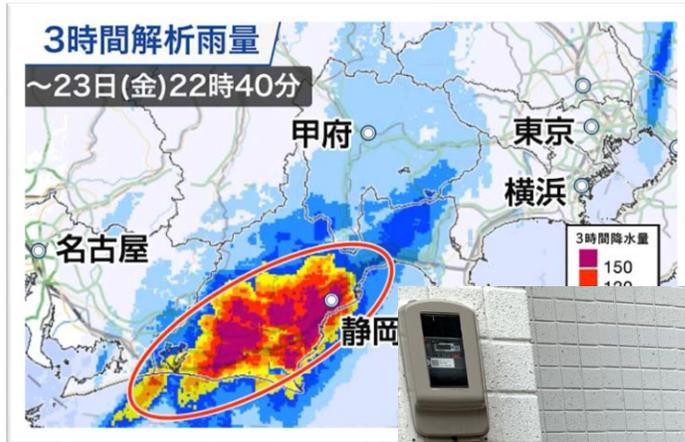
2023年(群馬)の雹害

災害対応を重ね、
**「1日でも早く快適な暮らしをしていただく」ための
 経験・ノウハウを蓄積してきた。**

近年の災害事例 – 静岡県水害

2022年9月23日～ 台風15号

台風15号からの湿った空気により線状降水帯が長時間に渡り静岡県各地で発生。



近年の災害事例 – 静岡県水害での対応

2022年9月23日～ 台風15号

発災2日目に総勢100名超の体制で初動対応開始、3日目までに被災邸全件完了。



参加人員

- 新築工事課、新築施工店
- ホームサービス課
- リフォーム営業、工事課
- アフター施工店
- 本社AS推進部

初動対応

- 支援物資の持参(水等)
- 片付け 廃材の運び出し
- 清掃・消毒・漏電確認
- 現場状況の確認
- 保険確認・申請(※AHFのみ)



消毒



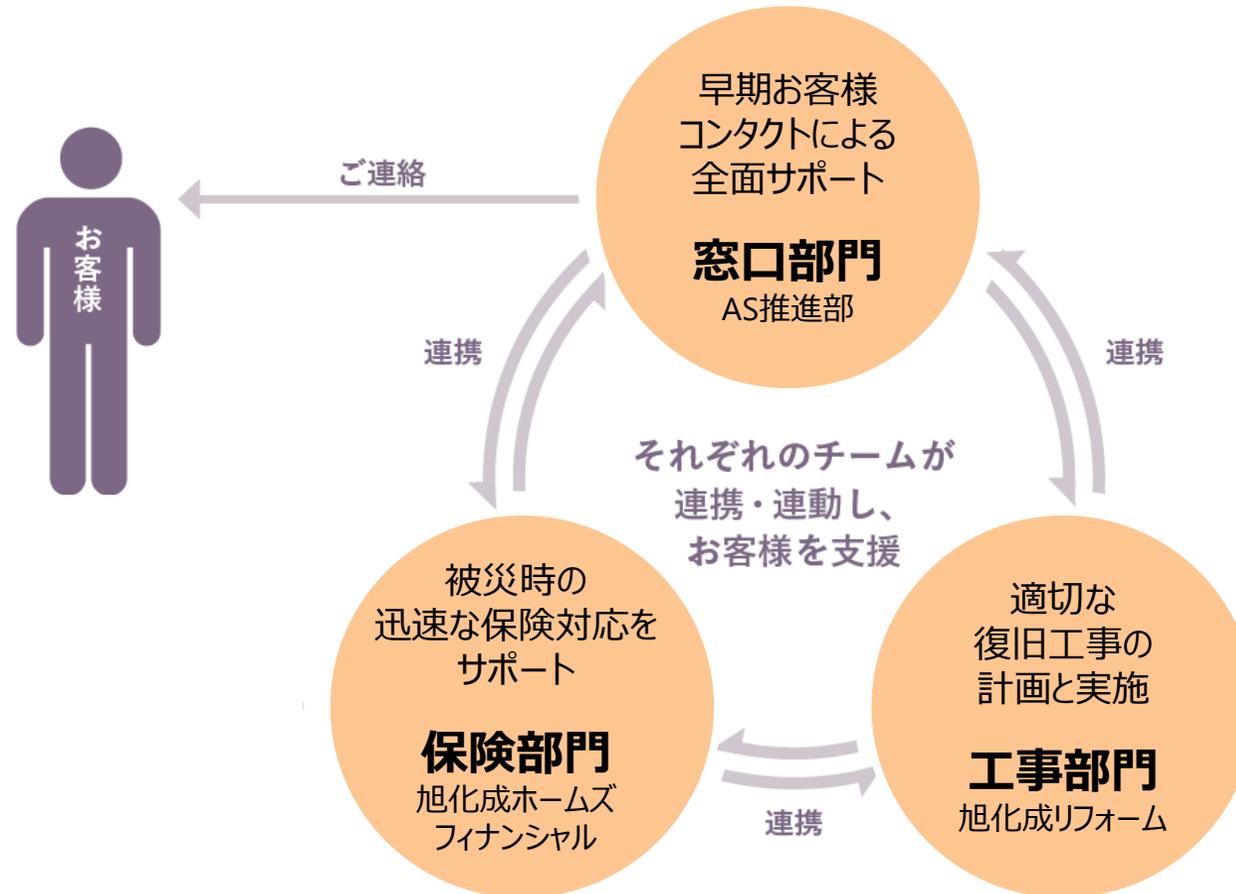
家具移動



清掃

災害ガイドラインにおける標準タイムライン

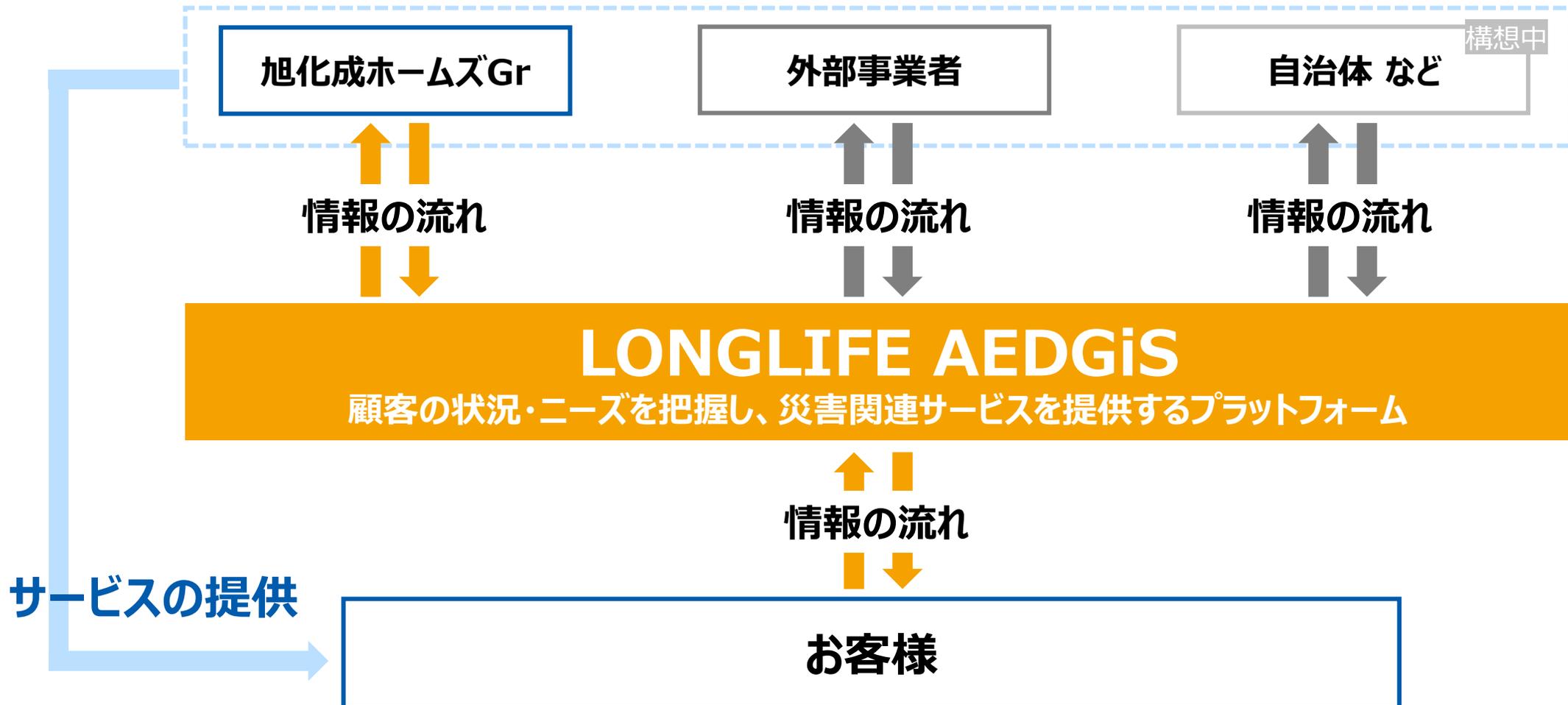
- 初動対応後は、リフォーム部門および保険部門へ引継。
- 保険対応や補助金の申請を「上手くできない」「分からない」ことが、「必要なメンテナンスを実施しない」「出来ない」ケースに繋がっていることも多い。
➡ 漏れなく、1日でも早く、元の生活に戻れるようにAHG r 全体で連携しサポートします。



LONGLIFE AEDGiS とは

開発理念

AHGrが強みとする「**人による対応**」を「**ITの力**」で補い、お客様にいつも寄り添うしくみ



LONGLIFE AEDGiS の機能

LONGLIFE AEDGiS

顧客の状況・ニーズを把握し、災害関連サービスを提供するプラットフォーム

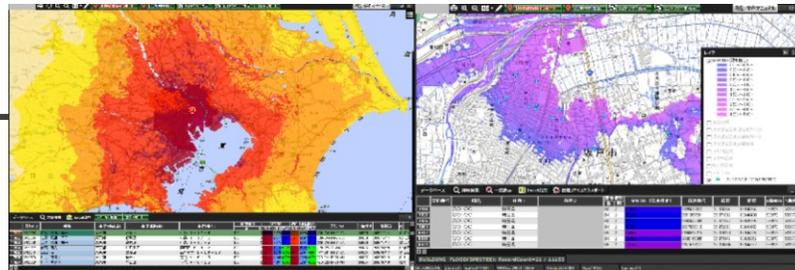
発災前の備え 被害を防いだり、被害が生じても最小限するための備え（防災力・減災力）

① **備えNAVI**

発災後の対応 被災直後からもとの生活に戻るまでの対応（復旧力）

利用者の継続的な備えをサポート

②地震/水害 被害推定システム



被害状況を把握し、迅速な災害支援

③災害時コミュニケーションサービス

発災後もつながる安心をお届け

- ✓ 自宅の被害状況を確認できる!
- ✓ 災害時に役立つ情報が取得できる!
- ✓ HEBEL HAUSへ簡単に連絡できる!

発災後すぐのお声がけメールからサービス利用可能!

通知が届く! 16:02

ITを活用し、
発災後のつながる安心をお客様へ提供

機能を拡張し
価値を高めていく

LONGLIFE AEDGiS の機能 ① 備えNAVI

診断機能

診断結果から、防災行動や必要な防災グッズを把握



災害への備え

ご自身の防災状況と照らし合わせ、必要なグッズがあればHEBEL HAUSのサービスを通じて購入をサポート



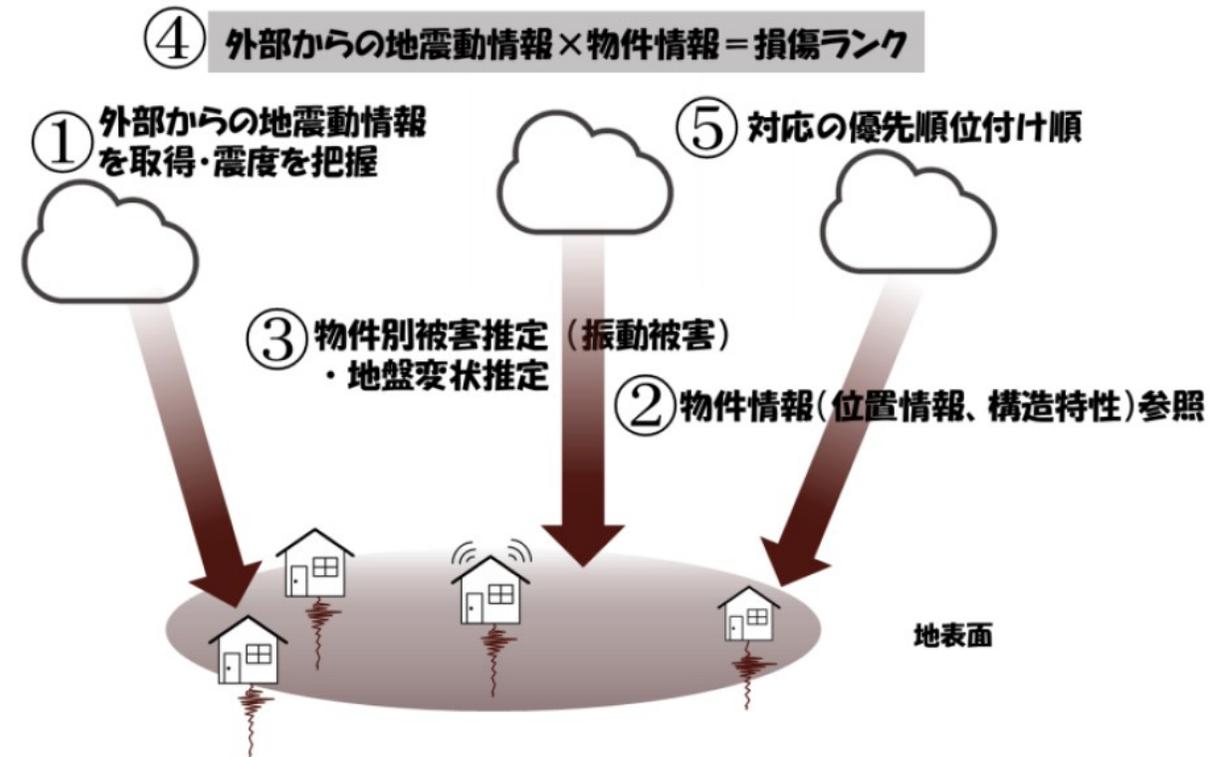
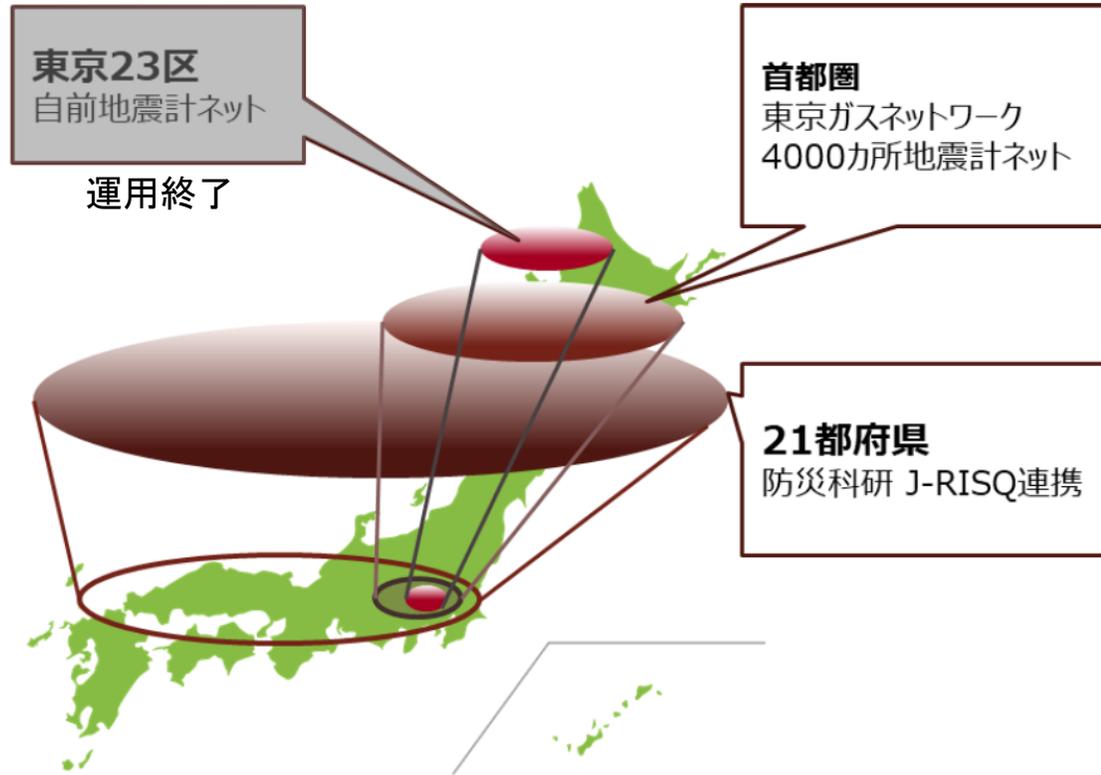
「HEBEL HAUS 在宅避難 7日分 基本セット」

通知・再診断

防災食料（定期購入）購入者へ年に1回の通知
備蓄の見直しを促進し防災対策を支援

LONGLIFE AEDGiS の機能 ②地震/水害 被害推定システム

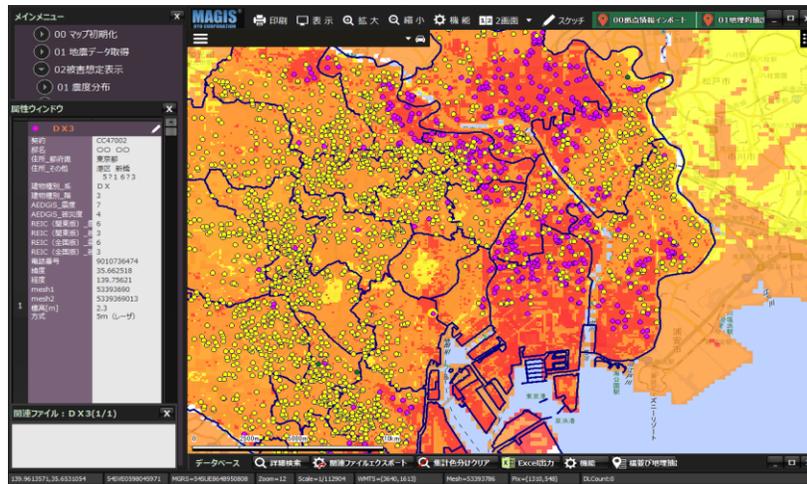
地震被害推定システムの概要



LONGLIFE AEDGiS の機能 ②地震/水害 被害推定システム

地震被害推定システムの詳細

- 建物の位置情報及び構造情報
- 防災科研・東京ガスのデータを元にした震度分布



構造 × 震度情報 = 層間変形角

層間変形角と住所・連絡先（電話番号等）をリスト出力

トリアージに活用

LONGLIFE AEDGiS の機能 ②地震/水害 被害推定システム

水害被害推定システムの詳細

Specatee社にてAI解析した浸水状況画像と、GISにプロットしたHH位置情報から、被害が推定される建物を特定。



LONGLIFE AEDGiS の機能 ②地震/水害 被害推定システム

物件情報への浸水想定との紐づけ

The screenshot shows the MAGiS software interface. On the left is a main menu with options like '00 マップ初期化', '01 地層データ取得', '02 被害想定表示', '03 区域表示', '04 外部データ表示', '05 その他', and '20 浸水情報'. The '02 被害想定表示' option is selected. The main area displays a map with various colored zones representing different flood risk levels. A legend on the right side of the map, titled 'レイヤ', lists various map layers, with 'SPECTEE (浸水推定)' checked. Below the legend is a color scale for 'SPECTEE (浸水推定)' ranging from 0.00m to 5.00m. At the bottom of the interface is a data table with columns for '契約番号', '邸名', '住所1', '住所2', '建物種別', '階', 'SPECTEE (浸水推定)', '電話番号', '緯度', '経度', '1地域MES', and '1地域MES'. The table contains several rows of data, with some cells highlighted in blue.

[凡例]

- ヘーベルハウス
- 浸水予想が出ているヘーベルハウス

LONGLIFE AEDGiS の機能 ②地震/水害 被害推定システム

被害トリアージの指標

- 地震被害：層間変形角
- 水害被害：浸水深さ

地震の場合		優先順位	水害の場合	
層間変形角(rad)	緊急度		浸水深さ	緊急度
なし	0	低 高	なし	0
1/●超	1		●～●m	1
1/●超	2		●～●m	2
1/●超	3		●～●m	3
1/●超	4		●m～	4

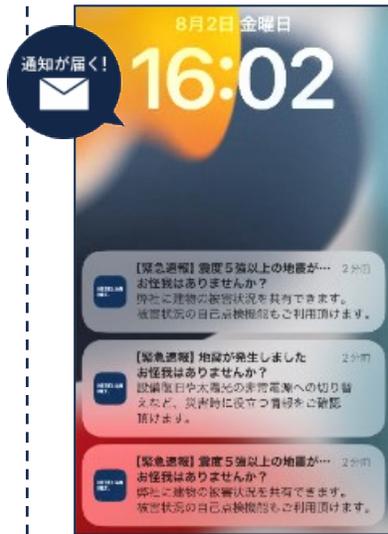
●の値は、災害の規模、大きさ、調査結果と推定値の関係により設定

LONGLIFE AEDGiS の機能 ③災害時コミュニケーションサービス

災害時コミュニケーションサービスの概要

震度
4
以上

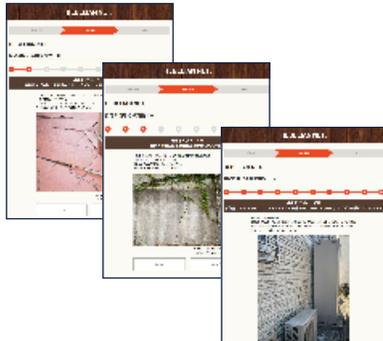
発災後すぐにお声かけメールを受信



ご自宅周辺の震度や設備復旧方法などの情報を提供

さらに、
震度
5
強
以上

自宅の自己点検機能で
被害状況を確認



自己点検結果と
災害で役立つ情報を提供



ご自宅の不安な箇所を
HEBEL HAUSと共有



土砂浸水害洪水 気象庁が発信する災害危険度情報に応じてお声かけメールを受信

まとめ

目指す姿

強靱な躯体の安心だけでなく、アフターサービスを通じた安心を提供する

- ・ 災害時の対応を1日でも早く、被害に遭われたお住まいを漏らさずに対応する。
 - ➔ ◎実現可能なのは、旭化成ホームズグループが、現地調査から復旧工事に至るまですべてをグループ内で連携できる組織であるから。
- ・ 被害に遭ったお住まいへの対応は、被害規模が大きい地域から対応する。
 - ➔ △被害のご連絡をいただいた住まいや地域への架電だけでは、対応の遅れや漏れが発生する可能性が否めない。

防災情報システム「LONGLIFE AEDGiS」

地震・水害それぞれの被害邸・被害範囲を、外部からの情報に加えお客様とのコミュニケーションサービスを通して推定することを実現した。

様々な分野と協業し機能強化することで防災力を向上させ、長く住み続けていただける住まいを実現し、環境負荷の低減を目指す。



AsahiKASEI

Creating for Tomorrow

